

令和2年6月22日

宮津市議会議長 北仲 篤 様

総務文教委員会
委員長 久 保 浩

総務文教委員会 所管事務調査報告書

本委員会は去る令和元年8月21日の委員会において、所管事務調査のテーマを「財政再建と公共施設マネジメントについて」と決定した。

このたび、テーマについて委員会として取りまとめを行ったため、最終報告を行う。調査概要については、次のとおりである。

1 調査日

令和元年	8月21日	所管事務調査事項の議決
	9月9日	執行部（企画財政部）との意見交換
	10月31日	富山県魚津市へ先進地視察調査
	11月1日	富山県氷見市へ先進地視察調査
令和2年	1月14日	視察報告、執行部との意見交換
	3月11日	調査研究
	5月11日	調査研究
	6月9日	調査研究
	6月15日	所管事務調査報告書の議決

2 調査内容

所管事務調査のテーマを決定するにあたっては、財政健全化と共に、少子高齢化等による人口減少に伴い、その規模に見合う公共施設マネジメントを適正に実施することが、本市の今後の行財政運営において重要な観点と位置づけ調査することとした。

まず、調査に当たり、執行部と意見交換を行い、市の現状や取組について説明を受けた。

次に、先進地事例として、公共施設である小中学校の適正規模のマネジメント、また、公共施設再編方針を見直した上で、個別施設計画の策定を予定されている富山県魚津市を視察、更に、富山県氷見市では、統廃合により使用しなくなった高等学校の体育館と校舎を改修し市庁舎として活用することで、大幅な経費節減を行い、財政健全化に寄与した事例を調査した。

その後、先進地視察の報告を行い、再度執行部との意見交換を実施した。

3 委員会で一致した意見

調査テーマについて、委員会として一致した意見は以下のとおりである。

「財政再建と公共施設マネジメントについて」

- ① 公共施設マネジメントを進めるに当たり、住民への説明については、多くのデータ（各施設の老朽化程度、耐震性、維持管理経費の将来負担見込みなど）を提供し、マネジメントの必要性を示して、わかりやすく丁寧な説明に努められたい。
- ② 公共施設マネジメントを進める上では、財政健全化に取り組んでいる中でもあり、市有地も含めた公共施設の売却・賃貸等できる限り財政メリットを生む手法を常に配慮しつつ進められたい。
- ③ 施設の地元自治会などへの譲渡においては、譲渡後の地元負担の軽減など充分配慮されたい。